

The Creed of Junior Chamber International

We Believe:

That faith in God gives meaning
and purpose to human life;
That the brotherhood of man
transcends the sovereignty of nations;
That economic justice can best be won
by free men through free enterprise;
That government should be of laws
rather than of men;
That earth's great treasure lies in
human personality; and
That service to humanity is the best
work of life.

『 J C 宣言 』

日本の青年会議所は

混沌という未知の可能性を切り拓き

個人の自立性と社会の公共性が

生き生きと協和する確かな時代を築くために

率先して行動することを宣言する

糸岡

令頁

われわれ J A Y C E E は

社会的・国家的・国際的な責任を自覚し

志を同じうする者 相集い 力を合わせ

青年としての

英知と勇気と情熱をもって

明るい豊かな社会を築き上げよう

社団法人 八戸青年会議所 第62回定時総会

日時：平成16年12月12日(日)

場所：よねくらホテル

- 14:30～ 第62回定時総会
1. 開会の言葉
 2. ゴング
 3. 国歌斉唱
 4. JCソング斉唱
 5. JCIクリード唱和
 6. JC宣言朗読並びに綱領唱和
 7. 理事長挨拶
 8. 2004年度事業中間報告並びに2004年度収支決算中間報告
 9. 褒賞発表・表彰式
- 15:05～ 10. 議 事
- 第1号議案 2005年度役員、日本JC、地区、ブロック出向者並びに組織案承認の件 (組織図、組織表)
 - 第2号議案 2005年度理事長基本方針並びに事業計画案承認の件
 - 第3号議案 2005年度収支予算案承認の件(一般会計、特別会計)
 - 第4号議案 定款変更案承認の件
 - 第5号議案 その他
11. 来賓紹介
 12. 来賓祝辞
 13. 閉会の言葉
- 16:00～ 第29回 社団法人八戸青年会議所卒業式
- 18:00～ 2004年度忘年会
- 19:50 閉 会

2005年度 スローガン

八戸青年会議所

“Be Ambitious & Action”

～走り出そう、夢現の未来へ～

東北地区協議会

頼られ求められる「東北JC」を目指して

新たなる日本の夢を東北から創る

日本青年会議所

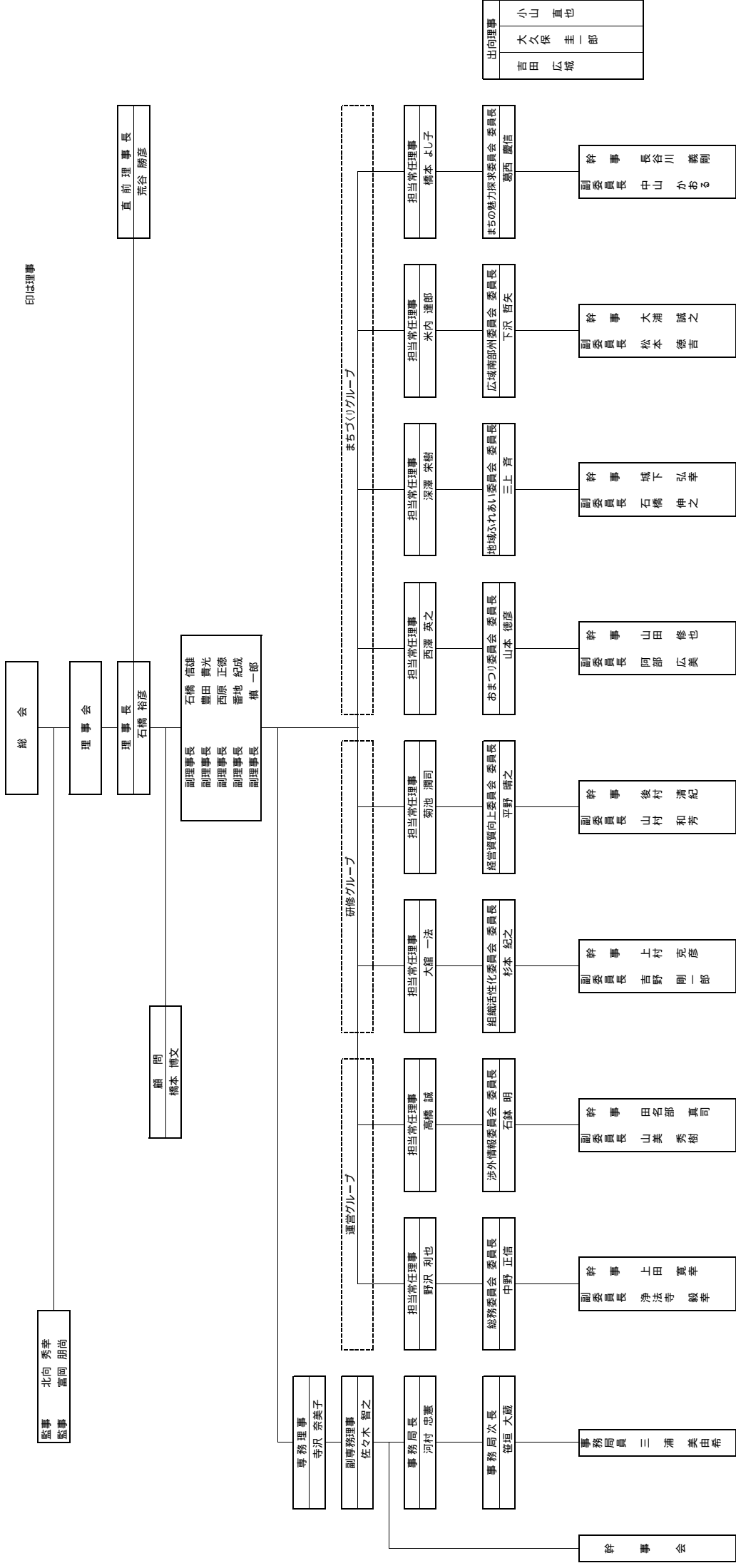
“JC New Generation”

新たなる日本の夢に向かって

2005年度 日本JC・地区・ブロック出向者(案)

[出 向 先]	[役 職]	[氏 名]
日本青年会議所		
経営資質向上委員会	委員	橋本博文
地域力創造会議	委員	米内達郎
サマーコンファレンス運営特別委員会	委員	若山忠義
全国大会運営会議	委員	夏堀嘉一郎
全国大会運営会議	委員	沼畑文博
全国大会運営会議	委員	吉田広城
東北地区協議会		
会務副会長		大久保圭一郎
総務委員	幹事	山内一彦
全国大会支援会議	委員	大坊直樹
全国大会支援会議	委員	西原正徳
東北ゼミナール委員会	委員	石橋信雄
東北ゼミナール委員会	委員	笹垣大蔵
東北青年フォーラムプロデュース委員	委員	上野裕泰
東北青年フォーラムプロデュース委員	委員	中山かおる
東北の魅力プロデュース委員会	委員	苦米地俊彦
東北の魅力プロデュース委員会	委員	番地紀成
J C 力発信委員会	委員	米内達郎
財政特別委員会	委員	小山直也
総務委員	委員	平野晴之
青森ブロック協議会		
会員大会運営委員会	委員長	高橋誠
財政政局	局長	小山直也
会員大会運営委員会	幹事	石鉢明
信頼感あふれる人材育成委員会	委員	日山錠治
都市化と自然のバランスある青森づくり委員会	委員	豊田貴光
会員大会運営委員会	委員	榎一 郎
東北青年フォーラム支援委員会	委員	寺沢奈美子
総務情報委員会	委員	中里愛寿彦
アカデミ一大学	塾生	上村克彦
アカデミ一大学	塾生	越後林寛之
アカデミ一大学	塾生	獅子内祐司
アカデミ一大学	塾生	下沢哲矢
アカデミ一大学	塾生	中村 剛

2005年度(社)八戸青年会議所 組織図(案)



2005年度 (社)八戸青年会議所 組織表(案)

執行部及び常任理事		(18名)	
理事	石橋裕彦	専務理事	石橋裕彦
副理事	石橋信雄	専務理事	石橋信雄
副理事	豊田貴光	専務理事	豊田貴光
副理事	西原正徳	専務理事	西原正徳
副理事	番地成	専務理事	番地成
専務理事	榎一	専務理事	榎一
副専務理事	寺奈美子	専務理事	寺奈美子
副専務理事	佐々木智之	専務理事	佐々木智之
専務理事	野利也	専務理事	野利也
副専務理事	高橋誠	専務理事	高橋誠
副専務理事	大館一法	専務理事	大館一法
副専務理事	菊池潤司	専務理事	菊池潤司
副専務理事	西澤英之	専務理事	西澤英之
副専務理事	深澤栄	専務理事	深澤栄
副専務理事	米澤達	専務理事	米澤達
副専務理事	橋本よし子	専務理事	橋本よし子
副専務理事	河村忠憲	専務理事	河村忠憲
副専務理事	笹垣大蔵	専務理事	笹垣大蔵

出向	吉田広城
出向	大久保圭一郎
出向	小山直也

直前	荒谷勝彦
----	------

顧問	橋本博文
----	------

監事	北秀幸
監事	富岡朋尚

総務委員会		(14名)	
委員長	中野正信	委員長	中野正信
副委員長	浄法寺毅	副委員長	浄法寺毅
幹事	上田寛	幹事	上田寛
委員	小田秀	委員	小田秀
委員	河原木俊	委員	河原木俊
委員	工藤真	委員	工藤真
委員	小島直	委員	小島直
委員	清水雅	委員	清水雅
委員	田口弘	委員	田口弘
委員	田頭初	委員	田頭初
委員	永沼和	委員	永沼和
委員	中村剛(シ)	委員	中村剛(シ)
委員	廣原和	委員	廣原和

渉外情報委員会		(11名)	
委員長	石鉢明	委員長	石鉢明
副委員長	山美秀	副委員長	山美秀
幹事	田名部真	幹事	田名部真
委員	上野裕	委員	上野裕
委員	岡一	委員	岡一
委員	金弘	委員	金弘
委員	坂賀	委員	坂賀
委員	上弘	委員	上弘
委員	中路	委員	中路
委員	中里	委員	中里
委員	長愛	委員	長愛
委員	巻秀	委員	巻秀

組織活性化委員会		(13名)	
委員長	杉本紀之	委員長	杉本紀之
副委員長	吉野剛一郎	副委員長	吉野剛一郎
幹事	上村克彦	幹事	上村克彦
委員	赤坂晋	委員	赤坂晋
委員	飯田和	委員	飯田和
委員	五十嵐昌	委員	五十嵐昌
委員	小川哲	委員	小川哲
委員	小菅和	委員	小菅和
委員	西米地俊	委員	西米地俊
委員	沼田毅	委員	沼田毅
委員	日山健	委員	日山健
委員	山道錠	委員	山道錠
委員	和人	委員	和人

経営資質向上委員会		(11名)	
委員長	平野晴之	委員長	平野晴之
副委員長	山村芳	副委員長	山村芳
幹事	後村清紀	幹事	後村清紀
委員	越後林寛	委員	越後林寛
委員	大沼慎	委員	大沼慎
委員	大久保圭	委員	大久保圭
委員	工藤義	委員	工藤義
委員	菅原和	委員	菅原和
委員	月館	委員	月館
委員	長畑	委員	長畑
委員	宮治	委員	宮治
委員	隆彦	委員	隆彦
委員	広	委員	広

おまつり委員会		(15名)	
委員長	山本彦徳	委員長	山本彦徳
副委員長	阿部広	副委員長	阿部広
幹事	山田修	幹事	山田修
委員	荒谷憲	委員	荒谷憲
委員	奥寺徹	委員	奥寺徹
委員	柿本拓	委員	柿本拓
委員	掛端英	委員	掛端英
委員	鹿上博	委員	鹿上博
委員	北健太郎	委員	北健太郎
委員	柳正	委員	柳正
委員	清野明	委員	清野明
委員	新野明	委員	新野明
委員	橋本勉	委員	橋本勉
委員	浜本忍	委員	浜本忍
委員	森智規	委員	森智規
委員	久興尚	委員	久興尚

地域ふれあい委員会		(13名)	
委員長	三上青	委員長	三上青
副委員長	石橋伸	副委員長	石橋伸
幹事	城下弘幸	幹事	城下弘幸
委員	磯島純	委員	磯島純
委員	一戸正	委員	一戸正
委員	今井正	委員	今井正
委員	小澤一	委員	小澤一
委員	北村雅	委員	北村雅
委員	菅田寛	委員	菅田寛
委員	中居稻太郎	委員	中居稻太郎
委員	中川一	委員	中川一
委員	原賢	委員	原賢
委員	三井拓	委員	三井拓
委員	若松賢	委員	若松賢

広域南部州委員会		(14名)	
委員長	下沢哲	委員長	下沢哲
副委員長	松本徳	副委員長	松本徳
幹事	大浦誠	幹事	大浦誠
委員	片谷吉	委員	片谷吉
委員	源新	委員	源新
委員	駒津湖	委員	駒津湖
委員	佐々木利	委員	佐々木利
委員	獅子内祐	委員	獅子内祐
委員	中村剛(ア)	委員	中村剛(ア)
委員	夏嘉一郎	委員	夏嘉一郎
委員	松本康	委員	松本康
委員	山内一	委員	山内一
委員	山田彦	委員	山田彦
委員	若山忠	委員	若山忠
委員	義	委員	義

まちの魅力探求委員会		(12名)	
委員長	葛西慶信	委員長	葛西慶信
副委員長	中山かおる	副委員長	中山かおる
幹事	長谷川剛	幹事	長谷川剛
委員	葛西俊郎	委員	葛西俊郎
委員	小泉純	委員	小泉純
委員	大坊直	委員	大坊直
委員	鶴飼圭	委員	鶴飼圭
委員	七崎真太郎	委員	七崎真太郎
委員	沼畑博文	委員	沼畑博文
委員	古館睦子	委員	古館睦子
委員	蔭田修	委員	蔭田修
委員	吉田弘	委員	吉田弘
委員	城	委員	城

2005年度 理事長基本方針（案）

本年、社団法人八戸青年会議所は4年後の創立50周年を見据え、今一度「人間と社会の開発」を念頭に置き、自己改革と組織改革を進めると共に、夢と希望をもって大きな一歩を踏み出します。

八戸青年会議所の根幹である「ラブはちのへ」運動の理念は30年以上に亘り伝えられ、受け継がれてきました。今日までの市民意識高揚を目的とした運動展開により、近年では我々と同じような理念をもって、積極的に活動している市民の方々も増えています。そのような中、「ラブはちのへ」運動の新たなステージに向けたメンバーの資質向上と組織の進化が必要と考えます。夢と希望を創造し達成する為には、変革することと、守るべきものを見極める感性を磨き、行動していかなければならないと思います。

青年会議所運動は「明るい豊かな社会」の実現に向かって進んでいます。目的や目標があつての事業や組織でなければなりません。長期的な目標を見据えた運動の展開と体制を作り、目的意識をしっかりと持ち、決して失敗を恐れることなく行動していきましょう。

まちとの関わりは重要であり、青年会議所で培った力を、我々のまちの活力にしていきたいと考えます。次代へと繋ぐ誇りを持てるまちを創造する為、今我々に何ができるのか、何をしなければならないのかを考え、各コミュニティのリーダーとしての自覚を持ち実践していただきたいと思えます。それは青年会議所運動への理解を深めることに繋がり、大きな力を生む原動力になります。この大きな力は、我々の財産となり今後の八戸青年会議所の礎となるはずで、今日までの知識と経験を結集させ、地域の可能性と魅力を創造し、次代に繋がる魅力あるまちづくり事業を全体で取り組みたいと考えます。

家庭での自分、会社での自分、地域の中の自分、ひとり一人の様々な立場からの考えは、八戸青年会議所に「英知」を与えます。メンバーの決断と友情は「勇氣」を、そしてメンバー皆さんの思いは「情熱」を与えてくれます。まちに、青年会議所に、もっと触れてみて感じてください。

組織の原動力は人であり、ひとり一人の資質向上により組織はさらに活性化すると考えます。いろいろな個性をもつ原石がぶつかり合い、磨きあう事のできるチャンスを大いに活かすべきです。そして、仲間の素晴らしさ、組織がもつパワーを体感し、ひとつの目的に向かって行動することで「連帯感」と「達成感」をメンバー全員で共有したいと考えます。

高い志を持ちましょう。今、新しい風を興せるのは我々青年なのです。大きな夢と希望に向け“かつこみぼつ確乎不拔”の精神を持って一年間行動していきましょう。

《重点テーマ》

自己改革による会員力の強化
組織改革による組織進化の推進
全国会員大会誘致運動の展開
アクションプランの実践

《重点事業》

組織活性化のためのセミナーの企画・実施
地域活性化事業の企画・開催
おまつり広場の企画・開催
第35回青森ブロック会員大会の主管
全員で取り組む会員拡大

2005年度 事業計画（案）

<運営グループ>

組織進化を念頭に置き、今後を見据えたロムの運営を進め、ロム内外とのネットワークを充実させる。

総務委員会

ロムの運営を円滑に進め、ロム内部への情報受発信を行い、メンバーの参加意識を高めるとともに、執行部を補佐する。

- ・ 総会、例会、理事会の運営
- ・ 新年会、忘年会、卒業式の企画・開催
- ・ 会員手帳の作成
- ・ 対内誌の発行
- ・ イントラネットの管理・運用
- ・ 各種案内の発送

渉外情報委員会

渉外全般を担当するとともに、ロム外部との情報受発信を行い、八戸青年会議所の運動を紹介する。

- ・ 青森ブロック会員大会の運営の窓口
- ・ 出向者連絡会議の企画・開催
- ・ 苫小牧交流会の窓口
- ・ ホームページの運用
- ・ 諸団体との対話交流
- ・ 各事業の取材・記録

<研修グループ>

セミナーを中心とした事業を開催し、メンバーの資質向上を推進することにより、今後の人材の育成を図る。

組織活性化委員会

組織活性化のための全体セミナーと新入会員セミナーを実施し、個々の資質向上を推進することで組織進化に結びつける。

- ・ 全メンバー対象セミナーの企画・実施
- ・ 新入会員セミナーの企画・実施
- ・ 交流会の企画・開催
- ・ 新入会員入会手続きの窓口

経営資質向上委員会

地域経済における青年経済人としての自覚を持つ人材育成を図る。

- ・ 経営資質向上と意識高揚のためのセミナーの企画・実施
- ・ 地域経済の自立を目指した人材の育成

<まちづくりグループ>

まちの活性化を目指すと共に、青年らしい考えをもって能動的に事業展開することにより次代に繋がる魅力あるまちを創造する。

おまつり委員会

「おまつり広場」開催について、市民参画実行委員会との連携により市民参加型おまつり広場の企画・開催を行う。

- ・ おまつり広場の企画・開催
- ・ 市民参画実行委員会との連携強化
- ・ ボランティア参加型のおまつり広場の推進
- ・ 地域活性化事業の模索

地域ふれあい委員会

諸団体への支援・協力を通じて連携の強化を図り、ふれあい事業を地域の普遍的な事業に進化させる。

- ・ 次代を担う青少年の育成事業
- ・ ふれあいセンターわいくとの連携
- ・ わんぱく相撲への対応

広域南部州委員会

真に豊かな広域まちづくりを目指し、南部州デザイン会議を支援すると共に運動の展開・模索を図る。

- ・ 広域まちづくりに対する運動展開
- ・ 南部州デザイン会議への運営支援
- ・ 南部州内青年会議所の窓口
- ・ 南部州内青年会議所の事業への参加・協力

まちの魅力探求委員会

全国会員大会誘致を見据え、地域の魅力と新たな可能性を模索する。

- ・ 地域から発信できる魅力の調査
- ・ 地域の可能性の模索
- ・ 地域の新たな魅力の創出
- ・ 全国会員大会招致理念の作成

2005年度 一般会計 収支予算(案)

(単位:円)

収入の部		支出の部	
款	予算	款	予算
1. 会費	21,110,000	1. 負担金	3,247,553
2. 雑収入	200,000	2. 事務費	6,632,547
3. 終身会費	600,000	3. 事業費	9,650,000
		4. インフォメーション関係費	300,000
		5. 渉外費	1,200,000
		6. シニアクラブ'運営協力金	300,000
		7. 次年度準備金	130,000
		8. 特別会計繰入支出	300,000
		9. 予備費	149,900
合計	21,910,000	合計	21,910,000

(単位:円)

収入の部			
款	予算	項	予算
1. 会費	21,110,000	1. a. 正会員	17,570,000
		b. 賛助会員	40,000
		c. 新入会員	3,500,000
2. 雑収入	200,000	2. 雑収入	200,000
3. 終身会費	600,000	3. 終身会費	600,000
合計	21,910,000	合計	21,910,000

(単位:円)

支出の部			
款	予算	項	予算
1. 負担金	3,247,553	1. a. JCI	249,228
		b. 日本JC	910,000
		c. 地区	246,500
		d. ブロック	825,000
		e. 国際協力金	293,825
		f. WE BELIEVE・JC-PRESS	483,000
		g. 出向者負担金	190,000
		h. 南部州デザイン会議	50,000

支 出 の 部			
款	予 算	項	予 算
2. 事 務 費	6,632,547	2. a. 事務局維持費	752,060
		b. 倉庫賃料	315,000
		c. 事務局員費	3,222,625
		d. 通信費	500,000
		e. 消耗品費	700,000
		f. リース費	272,862
		g. 備品費	250,000
		h. 借室料	100,000
		i. 慶弔費	150,000
		j. 雑費	370,000
3. 事 業 費	9,650,000	3. a. 例会講師関係費	1,500,000
		b. 事業予備費	1,900,538
		c. 委員会事業費	6,249,462
		イ) 総務委員会	2,480,510
		ロ) 渉外情報委員会	314,391
		ハ) 組織活性化委員会	451,095
		ニ) 経営資質向上委員会	257,933
		ホ) おまつり委員会	571,915
		ヘ) 地域ふれあい委員会	375,652
		ト) 広域南部州委員会	1,220,722
		チ) まちの魅力探求委員会	577,244
4. インフォメーション関係費	300,000	4. インフォメーション関係費	300,000
5. 渉 外 費	1,200,000	5. a. JC間渉外費	1,000,000
		b. 諸渉外費	200,000
6. シニアクラブ運営協力金	300,000	6. シニアクラブ運営協力金	300,000
7. 次 年 度 準 備 金	130,000	7. 次年度準備金	130,000
8. 特別会計繰入支出	300,000	8. 特別会計繰入支出	300,000
9. 予 備 費	149,900	9. 予 備 費	149,900
合 計	21,910,000	合 計	21,910,000

主要項目内訳

収入の部

1. 会費

(単位:円)

款	予 算	備 考
1. a. 正会員	17,570,000	正会員@ 140,000 × 125 名 休会員@ 70000 × 1 名
b. 賛助会員	40,000	@ 10,000 × 4 名
c. 新入会員	3,500,000	@ 140,000 × 15 名 + @ 140,000 ÷ 2 × 20 名

3. 終身会費

(単位:円)

款	予 算	備 考
3. 終身会費	600,000	@ 60,000 × 10 名

支出の部

1. 負担金

(単位:円)

款	予 算	備 考
1. a. JCI	249,228	@ ##### × 161 名 [126 + 35]
b. 日本JC	910,000	105,000 + (@ 5,000 × 161 名)
c. 地区	246,500	5,000 + (@ 1,500 × 161 名)
d. ブロック	825,000	20,000 + (@ 5,000 × 161 名)
e. 国際協力金	293,825	@ ##### × 161 名
f. WE BELIEVE	483,000	@ 3,000 × 161 名
g. 出向者負担金	120,000	@ 20,000 × 6 名 [(社)日本青年会議所 委員]
	20,000	@ 10,000 × 2 名 [東北地区協議会 東北政策ゼミナル委員]
	50,000	@ 10,000 × 5 名 [青森ブロック協議会 アカデミー大学塾生]
h. 南部州デザイン会議	50,000	年会費

2. 事務費

(単位:円)

款	予 算	備 考
2. a. 事務局維持費		
イ. 賃料	168,060	
ロ. 共益費	150,000	
ハ. 光熱費	434,000	
b. 倉庫賃料		
イ. 賃料	315,000	26,250 × 12 ヶ月
c. 事務局員費		
イ. 基本給	2,442,000	203,500 × 12 ヶ月
ロ. 通勤手当	60,000	5,000 × 12 ヶ月
ハ. 精勤手当	240,000	20,000 × 12 ヶ月
ニ. 退職金引当金	48,000	1,000 × 4 口 × 12 ヶ月
ホ. 労働保険料	42,753	
ヘ. 社会保険料	289,872	
ト. 福利厚生費	100,000	
d. 通信費	500,000	
e. 消耗品費	700,000	
f. リース費		
イ. コピー機	138,600	11,550 × 12 ヶ月
ロ. 印刷機	24,570	24,570 × 1 年
ハ. FAX・プリンタ	56,400	4,700 × 12 ヶ月
ニ. パソコン	53,292	4,441 × 12 ヶ月
g. 備品費	250,000	
h. 借室料	100,000	
i. 慶弔費	150,000	
j. 雑費	370,000	

6. シニアクラブ運営協力金

(単位:円)

款	予 算	備 考
6. シニアクラブ運営協力金	300,000	@ 30,000 × 10 名

2005年度年間スケジュール(案)

2005年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
JCI・日本JC	・ブロック会長会議 21日(金)[京都] ・総会22日(土)[東京]	・ブロック会長会議 19日(土)	・ブロック会長会議 19日(土) ・総会20日(日)[東京]	・ブロック会長会議 16日(土)	・ブロック会長会議 14日(土) ・ASPAC 28日(水)・29日(木)[ワカオ]	・ブロック会長会議 18日(土)	・ブロック会長会議 22日(金)[名古屋] ・サマーズコンファレンス 23日(土)・24日(日)[名古屋]	・ブロック会長会議 17日(土)・30日(金) ・総会30日(金)[姫路] ・全国会員大会 9/29(水)～2(日)[姫路]	・ブロック会長会議 5日(土) ・JCI世界会議 24日(月)・25日(火)[ワカオ]	・ブロック会長会議 3日(土)	・ブロック会長会議 5日(土)	・ブロック会長会議 3日(土)
	・京都会議 20日(水)・23日(日)[京都]	・役員会議4日(金) [福島]	・役員会議4日(金) [仙台]	・役員会議1日(金) [陸中宮古]	・役員会議6日(金) [酒田]	・役員会議3日(金) [能代]	・役員会議1日(金) [弘前]	・役員会議5日(金) [陸中宮古]	・役員会議3日(土) [陸中宮古] ・東北青年フォーラム 3(土)～4(日)[陸中宮古]	・役員会議7日(金) [北上]	・役員会議11日 (金)[会津] ・地区卒業式	
東北地区協議会	・役員・会員会議 所会議[弘前] 29日(土)	・役員・会員会議 所会議[五所川原] 9日(土)	・役員・会員会議 所会議[むつ] 12日(土)	・役員・会員会議 所会議[黒石] 11日(土)	・役員・会員会議 所会議[八戸] 9日(土)	・役員・会員会議 所会議[千和田] 10日(土)	・役員・会員会議 所会議[青森] 15日(土)	・役員・会員会議 所会議[未定] 19日(土)	・ブロック卒業式 19日(土)			
青森ブロック協議会	・ブロック名刺交換会 29日(土)											
八戸JC	・総会16日(日)						・臨時総会19日(火)					・総会11日(日)
理事会	6(木)	7(月)	7(月)	4(月)	9(月)	6(月)	4(月)	8(月)	6(火)	4(火)	4(金)・29(火)	26(月)
総会・定例会	16(日)	18(金)	18(金)	18(月)	18(水)	20(月)	19(火)	18(木)	20(火)	18(火)	18(金)	11(日)
三役会	12(水)	15(火)	11(金)	12(火)	12(木)	13(月)	12(火)	12(金)	12(月)	12(水)	14(月)	8(木)
常任理事会	20(木)	21(月)	22(火)	21(木)	23(月)	22(水)	21(木)	22(月)	22(木)	21(金)	21(月)	15(木)
郵便物発送日	7(金)・28(金)	9(水)・25(金)	9(水)・28(月)	6(水)・25(月)	10(火)・27(金)	8(水)・27(月)	6(水)・27(水)	9(火)・29(月)	8(木)・26(月)	6(木)・26(水)	7(月)・28(月)	5(月)・22(木)
幹事会	7(金)	9(水)	9(水)	6(水)	10(火)	8(水)	6(水)	9(火)	8(木)	6(木)		

2005年度 全国大会誘致運動特別会計 収支予算(案)

(単位:円)

収入の部		支出の部	
款	金額	款	金額
一般会計繰入収入	300,000	事業費	300,000
合計	300,000	合計	300,000

第4号議案

社団法人八戸青年会議所定款の改正並びに運営規程、庶務規程の一部変更の件（案）

社団法人八戸青年会議所定款

現 行	改 正 案
<p>(会員資格の喪失)</p> <p>第13条 本会議所の会員は、次の事由によりその資格を失う。</p> <p>(1)退 会</p> <p>(2)死亡または解散</p> <p>(3)破産または禁治産もしくは準禁治産の宣告</p> <p>(4)除 名</p>	<p>(会員資格の喪失)</p> <p>第13条 本会議所の会員は、次の事由によりその資格を失う。</p> <p>(1)退 会</p> <p>(2)死亡</p> <p>(3)破産手続き開始決定または後見もしくは保佐開始の審判</p> <p>(4)除 名</p>
<p>(理事会の議長)</p> <p>第31条 理事会の議長は、<u>理事長がこれにあたる。</u></p>	<p>(理事会の議長)</p> <p>第31条 理事会の議長は、<u>理事長または理事長が指名した者がこれにあたる。</u></p>
<p>(委員会の構成)</p> <p>第37条 委員会は、委員長1名及び委員若干名をもって構成する。</p> <p>2 委員長は、理事の中から理事長が理事会の承認を得て委嘱し、委員は正会員の中から委員長が理事会の承認を得て任命する。</p> <p>3 正会員は、<u>理事長、直前理事長、副理事長、専務理事及び監事を除き、原則として全員がいずれかの委員会に所属しなければならない。</u></p>	<p>(委員会の構成)</p> <p>第37条 委員会は、委員長1名及び委員若干名をもって構成する。</p> <p>2 委員長は、理事の中から理事長が理事会の承認を得て委嘱し、委員は正会員の中から委員長が理事会の承認を得て任命する。</p> <p>3 正会員は、<u>原則としていずれかの委員会に所属しなければならない。</u></p>

第4号議案

社団法人八戸青年会議所運営規程

現 行	改 正 案
<p>第2条 本会議所の役員は、それぞれの職務に応じて次のとおりその任務を遂行する。</p> <p>(1) 理事長は本会議所を代表し、所務を主宰する。<u>又、定款第18条第1項及び第2項並びに定款第30条の規程に基づき、総会並びに理事会を招集し、それぞれ、その議長となる。</u></p>	<p>第2条 本会議所の役員は、それぞれの職務に応じて次のとおりその任務を遂行する。</p> <p>(1) 理事長は本会議所を代表し、所務を主宰する。</p>

社団法人八戸青年会議所庶務規程

現 行	改 正 案
<p>第4条 正会員の慶弔に関しては次の基準により慶弔慰金もしくは記念品を贈る。</p> <p>(イ) 会員の結婚 金5,000円以上</p> <p>(ロ) 会員(特別会員、賛助会員も含む)の死亡 金5,000円以上<u>及び死亡広告</u></p>	<p>第4条 正会員の慶弔に関しては次の基準により慶弔慰金もしくは記念品を贈る。</p> <p>(イ) 会員の結婚 金5,000円以上</p> <p>(ロ) 会員(特別会員、賛助会員も含む)の死亡 金5,000円以上</p>